

気候変動の影響が災害を甚大化させ、紛争を引き起こし、難民問題を深刻化させている。

「気候危機」とも表される現状は国家や人間の安全保障の問題ととらえ直す動きが広がり、世界は「脱炭素」に向け対策を急いでいる。気候変動問題を国際政治の観点から取材してきた朝日新聞記者と成蹊大学の専門家が、「気候危機」の現状と課題を語り合う。

2022年2月末まで
配信期間延長



気候危機 で変わる世界

講演者



朝日新聞編集局長補佐 稲田 信司

1968年フランス・パリ郊外生まれ。1992年に朝日新聞社入社。テヘラン、ロンドン、パリで特派員。紛争下のアフガニスタン、イラクでの取材経験もある。国際報道部部长。GLOBE編集長を経て現職。「アフター・コロナ」の国際秩序、気候変動や移民などグローバルな課題、欧州統合の将来などに関心が深い。



成蹊大学経済学部教授・成蹊学園サステナビリティ教育研究センター所員 財城 真寿美

1976年福岡県生まれ。奈良女子大学文学部卒業、2004年東京都立大学理学研究科にて博士（理学）を取得。専門は、歴史気候学・自然地理学。日本の気象庁設立前の気象観測記録を世界各地で収集し、寒冷な気候が卓越していた14～19世紀ごろの「小氷期」から、現在の「地球温暖化」にいたる気候変動の地域特性について研究を行っている。

司会者

成蹊大学法学部教授・アジア太平洋研究センター所長 高安 健将

オンデマンド配信期間
2022.2.28迄延長！

成蹊大学アジア太平洋研究センター（CAPS）公式ウェブサイト
<https://www.seikei.ac.jp/university/caps/>
または右記QRコードよりお申込みください。
お問合せ ☎ 0422-37-3549 ✉ caps@jim.seikei.ac.jp



CAPS公式ウェブサイト

成蹊 アジア太平洋

視聴
無料
要申込

先着
500
名